



バンレイシ

学名	Annona squamosa	
科名	バンレイシ	
別名	しゃかとう 釈迦頭	
区分	まちかど	しよくぶつ 街角の植物
分布	にし 西インド諸島、	しよとう ちゅうなんべいげんさん 中南米原産

せつ
説
めい
明

げんさん ち にし しよとう ちゅうなんべい たねん
 原産地は西インド諸島、ペルーなど中南米で、多年
 せいはんらくようせい ていぼく せいちよう は たんよう
 生半落葉性の低木で6-8mに成長します。葉は単葉、
 ごせい ようへい かき がつ がつ うすみどりいろ
 互生で葉柄があります。花期は4月から6月で、薄緑色
 はな さ かじつ ひようめん みどりいろ おうとつ
 の花が咲きます。果実の表面は緑色で凹凸があり、
 へんしよく くる はんてん かじつ かたち ぶつぞう とう
 変色した黒い斑点があります。果実の形が仏像の頭
 ぶ み しゃかとう よ おきなわ にわき
 部に見えることから釈迦頭とも呼ばれ、沖縄では庭木
 かじゆ う
 果樹として植えられています。

葉の形	ちようだえんけい 長楕円形
葉の縁	ぜんえん 全縁
葉の先	えいけい 鋭形
葉の種類	たんよう 単葉
葉の付方	ごせい 互生
葉の基部	ぜんせんけい 漸尖形
実の種類	しゅうごうか 集合果
花・萼色	みどりいろ めだ いろ 緑色や目立たない色